

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	胃がんリスク検査	シート番号	11-189
担当部署名	健康福祉 局 健康 部 健康医療推進 課	評価責任者(課長名)	河盛

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無	
	2	事業開始年度	平成 28 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	堺市がん対策推進条例、堺市胃がんリスク検査の実施に関する要綱				
	4	関連計画					
5	事業実施の経緯	本市が実施する胃がん検診については「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき実施しているが、平成28年度より対象者を40歳以上から50歳以上に変更されたところである。この改正に伴い、胃がん検診の対象から外れた40歳代については、将来の胃がん発症のリスクを知り、胃がん予防意識の増進を図るとともに、若い世代からヘリコバクター・ピロリの除菌治療によって胃がん発症を予防し、将来的な胃がんによる死亡者の減少を図るための事業として胃がんリスク検査の導入に至った。					

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	40歳～49歳の市民			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	胃がん予防意識の増進を図り、将来的な胃がんによる死亡者の減少を実現するため。			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	検査内容 ・問診 ・血液検査 受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 (自己負担金1,000円を受診医療機関へ支払う)			
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 一般社団法人堺市医師会				

Ⅲ. 投入量

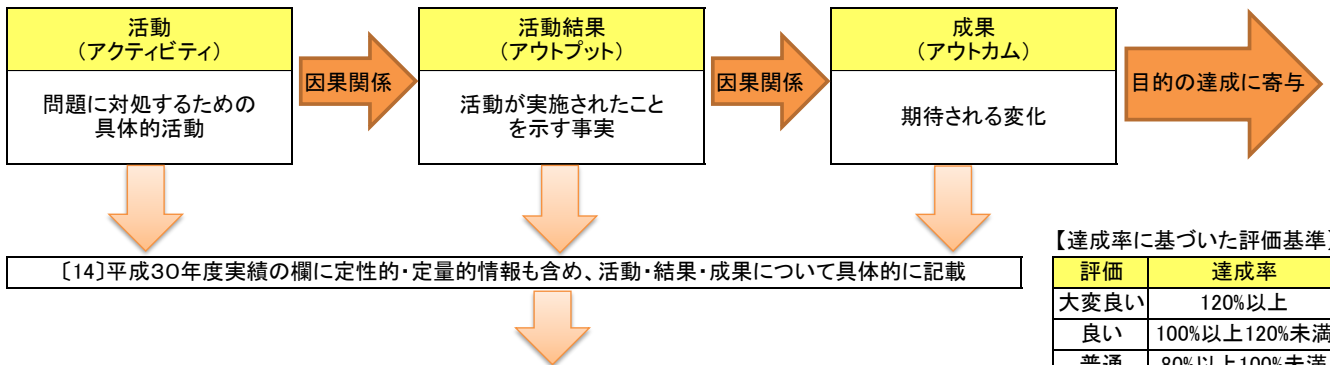
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	2,260	5,252	6,199	5,415
	主な事業費内訳	委託料他	千円	2,260	5,252	6,199	5,415
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
		一般財源	千円	2,260	5,252	6,199	5,415
12	人件費 (b)	千円	820	820	820	810	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	3,080	6,072	7,019	6,225	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	胃がんリスク検査	シート番号	11-189
--------------	----------	--------------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>各保健センターにおいて、がんをテーマとした健康教育実施の際に40歳代の市民に対して、がん検診の大切さ及び胃がんリスク検査の受診勧奨を行った。 また、電話等で40代から胃がん検診の問い合わせがあった際には、制度変更の説明を行い、胃がんリスク検査を案内した。 合わせて、胃がん検診の対象年齢に達した際には、定期的に胃がん検診を受診するよう勧めた。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		受診者数	人	目標値	-	-	-	1,400
				実績値	497	1,249	1,356	
				達成率	-	-	-	
				評価	-	-	-	
	算出方法・設定根拠など		前年の実績値を上回る目標値とする。					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		受診者数	人	目標値				
				実績値				
				達成率				
				評価				
	算出方法・設定根拠など							

業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>平成28年10月より開始した事業であり、多くの方に受診いただくように周知に努め、受診者数は増加してきている。 今後も、引き続き制度周知に努め、胃がんのリスクを知っていただき、受診者の更なる増加を目指す。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。